

# 令和5年度 環境で地域を元気にする 地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業

## 第2回意見交換会(成果共有会) 発表資料

活動団体名：田主丸・未来創造会議

活動地域：福岡県久留米市田主丸町

# 当初予定の事業化目的

## 神事・伝統行事をインパクトにした地域循環共生圏づくり

### 【目的】 地域の環境/歴史/伝統を次世代に引き継ぐ土台づくり

- ・ 地元が地元の価値に気づき、その価値を磨き上げる
- ・ 地元主体の観光プログラムで、地元への収益還元も目指す

### 【方針】

- ・ 地元には過度な負担をかけない少人数参加の繰り返し
- ・ 事業化に向けた環境整備、オンライン配信の実務ノウハウ習得
- ・ 久留米市文化財登録制度『筑後川遺産』ブランドの活用

### 【内容】

- ・ 筑後川遺産「田主丸話を聞こう会」
- ・ 筑後川遺産「田主丸を歩こう会」
- ・ 筑後川遺産「田主丸宿泊型体験モニタツアー」

# 当初予定の取組内容 その1

## 筑後川遺産「田主丸話を聞こう会」

地元高齢者の話から、地元の人が郷土の歴史を知る座談会

### 【概要】

約1時間半の地元向け座談会。50~60年前のさまざまな思い出話を楽しむ。地元オンライン参加者からも昔話などを披露し話題を深め、誰もが楽しめる身近な郷土の歴史を発見する。

### 【目標】

- ・ 地元内のファンづくり(関心喚起、本事業の共感者増加)
- ・ 郷土の歴史伝統の収集と記録(観光プログラムの素材集め)



# 当初予定の取組内容 その2

## 筑後川遺産「田主丸を歩こう会」

地元外の人が田主丸を歩き、歴史伝統を体感する散策会

### 【概要】

2時間～半日弱の地元の人も同行するガイドツアー。周りに見える風景を話題に地元外の人が地元の人との会話を楽しみながら、地域の歴史や暮らしを体感する。オンライン中継（ネット配信）も実施。

### 【目標】

- ・ 地元外のファンづくり(歴史伝統という新たな魅力提案)
- ・ 地元外の反応/興味の確認(マーケティングデータの収集)



# 当初予定の取組内容 その3

## 筑後川遺産「田主丸宿泊型体験モニタツアー」

地元外の人が農泊し、日本唯一の虫追い祭りを楽しむツアー

### 【概要】

1泊2日の体験ツアー（農泊）で、年中行事の話を知ったり、郷土料理や農業体験など。さらに、日本で田主丸だけという独特な形式のお祭り「虫追い祭り」に触れられるミニツアーやミニ講座も併設。

### 【目標】

- ・ 地元外のファンづくり(歴史伝統という新たな魅力提案)
- ・ 農泊と虫追い祭運営団体との連携模索



# 7月久留米市豪雨災害で変更を迫られる



# 今年度取り組んだ事業 1.シンポジウム

令和5年7月久留米市豪雨災害 復興シンポジウム

環境省 地域循環共生圏づくり

## 「里山とともに生きる暮らし」 ～災害を体験して、300年前の教訓に学ぶ～

令和5年11月18日(土) 午後1時30分～午後4時30分  
久留米市立水縄小学校 体育館 開場：午後1時 無料  
(オンライン同時中継)

主催：田主丸・未来創造会議 後援：久留米市



国土地理院ハザードマップポータルサイトの「重ねるハザードマップ」で作成した図に地域情報を追加 背景写真： 国土地理院 全国最新写真（シームレス）：平成28年12月21日

### 享保5年（1720）土石流（久留米市竹野校区）

この地図は、九州大学西山浩司先生のホームページ「災害伝承から防災へ 享保5年7月九州北部豪雨」から引用しています。（[https://www7.civil.kyushu-u.ac.jp/suiken/mino\\_disaster/index.html](https://www7.civil.kyushu-u.ac.jp/suiken/mino_disaster/index.html)）

### 享保5年（1720）土石流（久留米市水縄校区）

この地図は、九州大学西山浩司先生のホームページ「災害伝承から防災へ 享保5年7月九州北部豪雨」から引用しています。（[https://www7.civil.kyushu-u.ac.jp/suiken/mino\\_disaster/index.html](https://www7.civil.kyushu-u.ac.jp/suiken/mino_disaster/index.html)）



国土地理院ハザードマップポータルサイトの「重ねるハザードマップ」で作成した図に地域情報を追加 背景写真： 国土地理院 全国最新写真（シームレス）：平成28年12月21日

### シンポジウムの主な内容

【第1部】（13:30～14:40予定）

- ・耳納連山の災害発生状況(アジア航測株式会社)
- ・基調講演(九州大学大学院 西山浩司助教)

【第2部】（14:55～16:30予定）

- ・今回災害に関してパネリストコメント  
西山助教、吉岡秀蔵氏（三明寺区）  
吉弘辰一氏（田主丸財産区 議会議員）  
田中徹氏（株式会社Bwagon代表）
- ・語り合いの場  
地元の方々がグループに分かれて語り合う  
※ 紹介相談コーナー(アジア航測・浮羽森林組合)も併設

### YouTube公開のご案内

本日中継した映像は後日、YouTubeでも公開する予定です。  
YouTubeが公開になった際に連絡を受けたい方は、  
シンポジウム専用メールアドレス [renzansympo@gmail.com](mailto:renzansympo@gmail.com) 宛てに  
「YouTube連絡希望」という題名でメールしてください。

# 今年度取り組んだ事業 1.シンポジウム

## ■はじめに ～ 地域循環共生圏 と 田主丸・未来創造会議

●縦長い国土の日本では、古来より地域独自の気候や風土のもとで育まれてきた優れた文化圏が様々あります。

環境省が提案する「地域循環共生圏」は、美しい自然景観や豊かな恵みなどの地域資源を活かしながら、自分たちで様々な課題を解決し続ける自立した地域をつくとともに、地域同士もそれぞれ個性を活かしながら支え合うことを目指すものです。日本全国に広がる各地域の社会・環境・文化の底力によって、それぞれの地域を元気に住みやすいところにする構想です。

●田主丸・未来創造会議は、2021年度より環境省の「環境で地域を元気にする地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業」の支援も受けながら活動しています。事業目的は、里山里地の地域資源を最大限に循環利用する民間活力を掘り起こし、地域文化と経済的価値を向上させることで、地域全体に元気がみなぎることを目指します。

現在、会長・佐藤千彦、副会長・吉弘辰一、委員7名、顧問3名体制です。



「地域が主役！」

(ホームページ) 環境省ローカルSDGs 地域循環共生圏

(ホームページ) ぐるめすたいる 2022.11月 未来創造会議

「未来に託して今を考える」

まちの宝を

(ホームページ) ぐるめすたいる 2022.12月 田主丸未来創造フォーラム2022

## ■災害発生状況

「航空レーザ計測が明かす 7/10豪雨による耳納連山の災害発生状況」

アジア航測株式会社  
九州国土保全コンサルタント技術部 岡野和行 部長

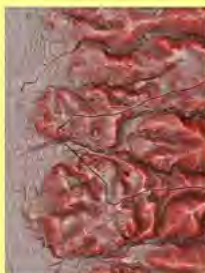
(企業プロフィール)

自社で保有する航空機と最新鋭のセンサによる空間情報の収集・解析から活用方法の提案、実施プラン策定まで、一貫した技術サービスを提供しています。今回紹介する航空レーザ計測に基づく「赤色立体地図」(特許取得済)は、木に覆われた森林地帯であるうとも、地形がくっきり浮かび上がり、これまで見ることのできなかった土地のすがたを見ることが出来ます。

(ホームページ) アジア航測株式会社

(ホームページ) 九州での記録的大雨被害状況 (2023年7月)

(ホームページ) 赤色立体地図



## ■基調講演

「よみがえる300年前の耳納連山豪雨災害、当時の里山と人のつながり」

九州大学大学院 工学研究院 環境社会部門 西山浩司 助教 (プロフィール)

古文書などの災害記録から過去の災害や当時の気象状態を再現し、その成果を現在の防災につなげる活動を長年されています。2016年からは耳納連山で約300年前に起こった大規模な土砂災害を集落別に研究され、「災害伝承から防災へ 享保5年7月九州北部豪雨」というタイトルで九州大学ホームページに公開されています。竹野校区で防災講話や防災術歩きを開催されたこともあります。



(ホームページ) 福岡県東峰村の水幹と災害との関わり

(ホームページ) 災害伝承から防災へ 享保5年7月 九州北部豪雨

(ホームページ) 九州大学 研究者情報 西山浩司先生

(ホームページ) 九州大学 研究者情報 西山浩司先生

## ■パネリスト

語り合いの場では会場に降りてこられます。どうぞお気軽にお話ししてください。

九州大学-西山浩司先生

三明寺区・吉岡秀蔵 氏  
大規模な土石流災害が発生した三明寺区にお住まいです。

田主丸財産区議会-吉弘辰一議長  
田主丸財産区は、耳納連山の約770ヘクタールを所有し、管理する特別地方公共団体。吉弘氏は、田主丸・未来創造会議の副会長も務めています。

(ホームページ) 田主丸財産区 かつばの森 J-URLシット

株式会社Bwagarr 田中徹代表  
福岡県を中心に多くの自治体の地域活性化プロジェクトに関わってこられました。「久留米まち旅博覧会」もその一つ。今日は「語り合いの場」の進行役もお願いしています。

## ■各種紹介・相談コーナー

開演前、休憩、第2部「語り合いの場」の時に開いていますので、お立ち寄りください。

アジア航測株式会社  
会社概要、今回の災害発生状況、赤色立体地図などについてご紹介いただけます。(第2部途中で退席予定)

浮羽森林組合  
浮羽森林組合は、耳納連山をはじめとした山林・樹木を守り育てています。今日は山について皆さんの質問や悩みの相談に乗ってまいります。

(ホームページ) 浮羽森林組合

関連映像  
テレビで放送された今回の豪雨被害特番(FBS)と、災害現場のドローン映像などが流れます。



# 今年度取り組んだ事業 1.シンポジウム



https://www.youtube.com/@user-uz1er6jg1m

## 田主丸災害復興シンポジウム

@user-uz1er6jg1m · チャンネル登録者数 4人 · 2本の動画

令和5年7月久留米市豪雨災害復興シンポジウム >

チャンネル登録

ホーム 動画

動画 ▶ すべて再生



久留米市田主丸町・令和5年7月久留米市豪雨災害復興...

86回視聴・2か月前



久留米市田主丸町・令和5年7月豪雨災害復興シンポジ...

48回視聴・2か月前

7月10日の土石流災害は300年前の享保5年7月26日にも起こっていた！

→ 災害は繰り返される 今後も必ず起こる

享保5年（1720）決壊（千ノ尾川上流）した天然ダムの推定位置

田主丸・未来創造会議 配信

久留米市田主丸町・令和5年7月久留米市豪雨災害復興シンポジウム「里山とともに生きる暮らし」第1部 (2023/11/18)

田主丸災害復興シ... チャンネル登録者数 4人

チャンネル登録 1 共有 保存



久留米市田主丸町・令和5年7月豪雨災害復興シンポジウム「里山とともに生きる暮らし」第2部 (2023/11/18)

田主丸災害復興シ... チャンネル登録者数 4人

チャンネル登録 0 共有

# 今年度取り組んだ事業 2.復興祈願祭

## 復興祈願 虫追い祭り

令和5年1月25日(土)午前11時25分~40分  
三明寺公民館 駐車場にて

虫追い祭りは、もともと稲の害虫を焼きはらい五穀豊穡を願うものでした。豪雨災害でご苦労されている方々の復興と五穀豊穡を、虫追い祭りにて御祈願させていただきます。

大馬も出ず少人数・短時間の演技となりますが、お集りいただければ幸いです。よろしくお願ひします。

JAにじ田主丸地区青年部  
田主丸・未来創造会議



## 復興祈願 田主丸・虫追い祭り

令和5年1月25日(土)午後0時10分~25分  
JR田主丸駅「或る列車」をお出迎え

虫追い祭りは、もともと稲の害虫を焼きはらい五穀豊穡を願う祭り。本日は、豪雨被害でご苦労されている方々の復興と五穀豊穡を祈願するため、被災地の公民館とJR田主丸駅前前で演技させていただきます。

昨年の本祭りのような大馬も出ず少人数・短時間の演技となりますが、ご覧いただきながら一緒に祈願できれば幸いです。次回2025年秋の本祭りで、皆さまとお会いできることを楽しみにしています。

JAにじ田主丸地区青年部  
田主丸・未来創造会議



田主丸・虫追い祭りは少なくとも300年は続く祭りで、現在は3年毎に11月中旬に開かれます。全国に虫追い祭りあれど、武将人形をぶつけあい大馬が暴れる喧嘩祭りは田主丸だけです。武将は『平家物語』の篠原合戦に登場の斎藤別当実盛と手塚太郎光盛の2人。手塚に討ち取られた実盛は稲の害虫と化したとされ、人形もサネモリムシと呼ばれます。

JAにじ田主丸地区青年部が1カ月前から人形と大馬を準備、応援も加わり2週間ほど毎日練習して、人形・馬の重量と操り方を体に沁み込ませます。祭り当日は、田主丸天満宮でお祓いと出陣式をすませた約100名が、各所保育所・にじの耳納の里などで演技して、最後は夜の巨瀬川に入っの大合戦でフィナーレを迎えます。

YouTube『語る、田主丸。』で準備から夜の合戦まで全て公開しています。

田主丸・虫追い祭りを  
見るなら



YouTube  
語る、田主丸。

# 今年度取り組んだ事業 3.筑後川遺産

企画展

## 筑後川遺産

「城島の酒蔵・田主丸の祭り」

田主丸・祭りの賑わう里  
～地域をつなぐSDGs

城島酒蔵ものがたり

**入場無料**

令和5年(2023) **9月23日** (土) ~ **12月10日** (日) 開催時間 | 午前10時~午後6時  
休館日 | 水曜日、第4木曜日

**久留米市立六ツ門図書館展示コーナー**

主催 | 久留米市、久留米市教育委員会  
共催 | 久留米市西部ツーリズム協議会、田主丸・未来創造会議

企画展

## 筑後川遺産 -城島の酒蔵・田主丸の祭り-

筑後川遺産とは

**筑後川遺産**

久留米市内には、悠久なる大河「筑後川」の恩恵に恵まれた歴史遺産(文化財)が数多く広がっており、それぞれの遺産に歴史や文化を背景とする物語があります。その様々な物語でつながれた歴史遺産の関連が「筑後川遺産」です。市民と市が連携して歴史遺産を見つけ、守り、活かし伝えていくため、令和3年度に筑後川遺産登録制度がスタートしました。そして、令和5年3月31日に「城島酒蔵ものがたり」と「田主丸・祭りの賑わう里～地域をつなぐSDGs」の2件が、初めて筑後川遺産に登録されました。

登録第1号

### 城島酒蔵ものがたり

「東の灘、西の城島」と称されるほど盛んだった酒造りは、自然・人・地域のつながりを深め、地域の産業や芸術文化を育てました。本展では、酒造りの工程や歴史、酒造りによって発展した産業や文化について紹介します。



酒蔵の風景(花の露)



三瀬岡等学校



旧三瀬銀行



大川鉄道4号機関車  
(市指定文化財)

登録第2号

### 田主丸・祭りの賑わう里 ～地域をつなぐSDGs

田主丸には、年間200を超える祭り(神事や伝統行事)が残っています。本展では、古記録や写真・祭具などを通して、自然・産業・社会の各資源の連関により持続可能となっている祭りを、地域をつなぐSDGsとして紹介します。



獅子舞・獅子打ち



夜渡(よど)



堂籠り(どうごもり)



虫追い祭

## 久留米市立 六ツ門図書館展示コーナー

**入場無料**

〒830-0031 福岡県久留米市六ツ門町3-11 くるめりあ六ツ門5階  
TEL | 0942-27-9281 FAX | 0942-27-7281

■JR久留米駅から徒歩約15分 ■西鉄久留米駅から徒歩約10分

■バス停「六ツ門・シティプラザ前」から徒歩約2分

■くるめりあ六ツ門地下駐車場・トラストパーク六ツ門駐車場に駐車の場合、「くるめりあ六ツ門」利用サービスとして2時間無料になります。図書館カウンターで、お持ちいただいた駐車券に利用証明スタンプを押印いたします。その後1階インフォメーションカウンターにて割引処理をご依頼ください。



音声コード  
(Uni-Voice)

# 今年度取り組んだ事業 3.筑後川遺産

## ストーリーシート(紹介パンフレット) 2024.3末発行予定 久留米市予算を活用

### 田主丸・祭りのお世話

地域をつなぐSDGs

#### 筑後川遺産

【筑後川遺産第2号】

#### 田主丸町に伝わる「祭り」「神事」「伝統行事」

田主丸は、7km四方の狭い範囲に、耳納連山の山辺から筑後川の水辺まで変化に富んだ自然と豊かな田畑が広がります。そのような環境のもと、今年間に200を超える祭りや神事、伝統行事が、地域の人々の手によって続けられています。祭りは地元の自然、産業、地域社会に支えられて初めて継続が可能な、まさに日本が育んできた伝統的なSDGsと言えます。田主丸に数多く引き継がれている祭りや神事は、他には代えられない価値を有しています。

#### 神事のお世話 地域をつなぐSDGs

田主丸では数百年と多くの神事や伝統行事が、地域の人々で続けられています。例えば、神事の場合、奉仕人は奉列するだけのイメージが強いですが、田主丸では地域の人々が神事現場を整え、そこに宮司さまが来て神事をを行います。神事の日は職責が立ちます。昔ながらの備前の庄を氏子さんが入り込んで神事もあり。しめ縄は手取り、蒲も自ら栽培した物です。夏は、山から取ってきた草や大きな草の輪(もの)を待ちます。そこには伝統的技法が引き継がれています。作業場は人々の元語を通じて通じあがり、地域の賑わいが伝わってきます。氏子さん達は神前の用意もします。神前に餅や野菜を並べ、境内に結えられた榎の木から玉串にすり枝を切ります。時には玉串に飾る順番しでも用意します。そして、ご神事で宮司さまと共に氏子さんも玉串を供えます。

#### 夜渡〜懐かしき夏祭りの痕跡〜

夜渡は、暑い夏に負けない健康と賑わいを残す祭りです。7月下旬からの中旬にかけて、田主丸の多くの祭りが行われます。神事のために焼いた実を焼いてお供えし、神楽が行われます。現代でも、普及している祭りでも、昔ながらのやり方を守り、昔ながらの地域の人々の手で、伝統の祭りを残すことが大切です。

#### 厄除け風止め〜今も変わらぬ自然への畏怖〜

風旗祭は、厄除けの儀。風止めとも呼ばれ、4月から7月にかけて行われます。最古の祭りで、自然災害に備えるように、厄除けの儀として行われます。神事では、宮司さまの御神威で、風旗を舞いながら、厄除けの儀が行われます。氏子さんが、お供えの儀を行います。厄除けの儀は、昔ながらのやり方で、昔ながらの地域の人々の手で、伝統の祭りを残すことが大切です。

#### 町祝い(糸びす様)〜商店街の街の面影〜

商店街の祭り。江戸時代初期に在りしとして、商店街として繁栄しました。町祝いの祭りは、商店街の賑わいを残すことが目的です。江戸時代から、商店街の賑わいを残すことが目的です。江戸時代から、商店街の賑わいを残すことが目的です。江戸時代から、商店街の賑わいを残すことが目的です。

#### 神迎えの堂籠り〜夜の境内に燃える迎え火〜

田主丸の多くの神事では、11月30日の夜から一夜、大きな火が燃え上がります。これは、神迎いの儀に由来しています。神迎いの儀は、神の御座る境内に火を燃やして、神を迎えるという儀です。神迎いの儀は、神の御座る境内に火を燃やして、神を迎えるという儀です。神迎いの儀は、神の御座る境内に火を燃やして、神を迎えるという儀です。

#### 獅子舞/獅子打ち〜家内安全を祈り家を巡る〜

獅子舞や獅子打ち。かつて多くの神事や祭りで舞われてきました。しかし、近年の子供達が減少する中で、数を減らしてしまいました。獅子舞は、家内安全を祈り、家を巡るという儀です。獅子舞は、家内安全を祈り、家を巡るという儀です。獅子舞は、家内安全を祈り、家を巡るという儀です。

#### 虫追ひ祭〜稲作とともに300年続く伝統行事〜

虫追ひ祭。江戸時代から300年続く伝統行事です。虫追ひ祭は、稲作とともに300年続く伝統行事です。虫追ひ祭は、稲作とともに300年続く伝統行事です。虫追ひ祭は、稲作とともに300年続く伝統行事です。

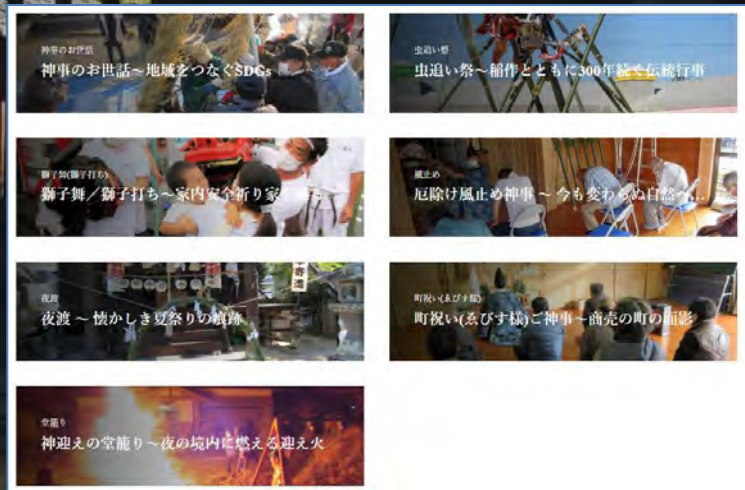
本ページ掲載内容は企画案時点のもの。

# 今年度取り組んだ事業 4.Web改訂

祈る、  
田主丸。

祈る、田主丸。とは  
マップ  
魅力を知る。  
空から、知る。  
年中行事  
お知らせ

土地に根づく神仏、  
伝統行事。



# 今年度取り組んだ事業 4.Web改訂

## 獅子舞／獅子打ち～家内安全祈り家を巡る



家々を巡り獅子打ちし神社では獅子舞して、厄を払い家内安全を祈ります。田主丸の獅子舞・獅子打ちは、正月でなく7～9月の夏に行われます。



獅子舞は振数の決まった振り付けを舞います。獅子打ち(打ち込み)は、「祝いましょ！も一つせっ！祝って！

## 祈る、田主丸。

祈る、田主丸。とは マップ 魅力を知る。 空から、知る。 年中行事 お知らせ



## 2 1. 田主丸・天満宮 鳩とともに

3年に1度11月に行われる「虫追い祭」。当日の早朝、境内には100人規模の祭りの担ぎ手が集まって、安全祈願のご神事と出陣式が行われます。撮影2022年11月末。(Google Map)



## 2 2. 今村・徳満神社 銀色に輝くススキ

この神社は「瀬川沿い」にあり、秋は河岸のススキが風に揺れ銀色に輝きます。7月には「茅の輪くぐり」神事があり、社殿の前に大きな茅の輪を飾り、それを3回くぐって体を清め無病息災を祈願します。9月には川面に大きな行灯をぶら下げる「夜渡(よど)」神事が行われ、夜は公民館で夜祭りが開かれます。撮影2022年11月末。(Google Map)



# 今年度取り組んだ事業 4.Web改訂

祈る、  
田主丸。

Local deities and traditions  
deeply rooted in the land.

祈る、田主丸。  
Inoru, Tanushimaru.

Japanese / English  
TOP ABOUT CHARM MOVIES EVENTS

00 / Annual Events

## Annual Events



Yakuyoke Kazetome

Yakuyoke Kazetome Shinji - The  
Ritual to Ward off Misfortune and  
Calm the Wind: A Continuation of  
Reverence for Nature

# 今年度の成果と成果が出た要因

## 1. 災害復興シンポジウム

### ■ 成果

- ・200名を超える来場者
- ・「語り合いの場」への高い満足度(アンケート回答者80%「すごく思う・思う」)
- ・メディアの高い反応(TV-3局,放送3回。新聞-3社,掲載5回,内特集扱い3回)
- ・オンライン配信の実現(技術や機材を支援する久留米市「みんくる」との接点)
- ・リスク管理意識の醸成(日常生活の中で里地里山を客観的に見つめ直すきっかけ)
- ・ローカルSDGsへの認識(里地と里山と地域住民の切っても切れない密接な関係)

### ■ 要因

- ・「語り合いの場」の設定(被災した地元の人同士による話し合い)
- ・「語り合いの場」討議者および一般参加者の確保(地元の温かい協力)
- ・「語り合いの場」の熱気(大いに驚いたメディア取材陣)
- ・地元の関心が高い講演内容(災害の詳細状況/300年前の災害記録)



写真:ご当地新聞くるめすたいる



# 今年度の成果と成果が出た要因

「くるめすたいる」シンポジウム特集(冊子版:意見・アンケート集計付) 2024.3末発行予定

発行元 2023年11月号(第127号) 第346号

ご協賛先 くるめすたいる 2023年11月号(第127号) 第346号

【特集1】まちの宝を未来に託して



特集1

まちの宝を  
未来に託して  
今を考える

令和5年7月8日(金) 米子市  
豪雨災害復興シンポジウム2023



▲災害時の避難所(仮設)写真(上)と  
▲特色ある地域のアジア芸術株式会社(下)



「何をどう伝えたいか」が大事です。と、関係者の声は、このように聞かれました。このシンポジウムは、被災者や関係者の声や意見を、多くの人に届けるための重要な機会です。被災者の声や意見を、多くの人に届けるための重要な機会です。被災者の声や意見を、多くの人に届けるための重要な機会です。

「何をどう伝えたいか」が大事です。と、関係者の声は、このように聞かれました。このシンポジウムは、被災者や関係者の声や意見を、多くの人に届けるための重要な機会です。被災者の声や意見を、多くの人に届けるための重要な機会です。被災者の声や意見を、多くの人に届けるための重要な機会です。



## KURUME STYLE

ご当地新聞

# くるめすたいる

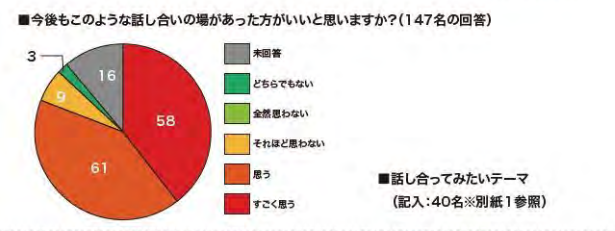
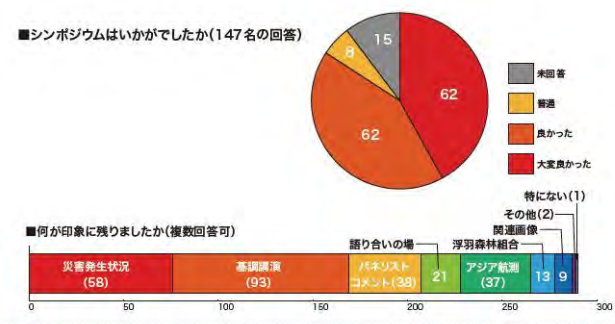
ちくご久留米の食文化・伝統そして元気の源を探る

# 12

2023

No.346

くるめすたいる主催のイベント参加の  
お申し込みは、こちらのURLからできます



<p>グループ1</p> <p>【災害当時の状況に關して】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアの方(全国から)有り難い!</li> <li>・近所の家の避難所</li> <li>・避難場所と人数を日頃より家族で話し合う</li> <li>・情報収集とコミュニケーション</li> <li>・河川へ行政による整備、スリットダムがあれば助かった?</li> <li>・自然の前には人は無力</li> <li>・緊急事態のその時決断するのは覚悟がある。いつ逃げるのか?</li> <li>・公的助けはずいぶんは得られない。各個人の判断になる</li> <li>・災害の発生は個人では予測できないので情報を多く取り入れる</li> <li>・自分自身は自分で守る</li> <li>・天気予報など情報をいち早く知る。そして自分の行動のシミュレーションをする</li> <li>・警戒情報が出てその時区民の避難状況、未明からの大雨でなかなか難しい状況があるとと思うが...</li> <li>・避難を躊躇する理由は何があるのか...</li> </ul>	<p>【災害復旧後後に關して】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次の災害が起こる前の山の治水などを早くやってもらいたい</li> <li>・安全に住める場所と住期が必要になる。子供や孫に安心を渡すこと</li> <li>・今まで何を考えたか</li> <li>○過去の災害 行政の今後の取り組み</li> <li>○橋に洗木が引かなかった時の被害など</li> <li>○レッドゾーンの解消</li> <li>○山の倒壊材の処理</li> <li>○警戒区域の避難場所</li> <li>・避難所も危険。忘れてしまう→話し伝えていく</li> </ul>
<p>グループ2</p> <p>【災害当時の状況に關して】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この災害が起きたときにまさか自分の校区で起こるとは夢にも思いませんでした</li> <li>・三百年前にも同じような災害が起こっていたとは知りませんでした</li> <li>・被災したところを見てきたところ4ヶ月たっても何も復旧していません</li> <li>・市役所に聞くとも生活圏が先でもう少し待っててくださいとのことであった。11月1日倒木、流木、土砂をやっと取り除いてもらっています</li> <li>・夜中はどうするのか</li> <li>・増え、煙の排気、浸水対策</li> <li>・増え、煙(安さ)、山火</li> <li>・集落の方の避難場所への誘導</li> <li>・まず避難が第一</li> <li>・避難、どこへ、どのように連絡</li> <li>・どこに逃げたいの?</li> <li>・山火</li> <li>・人は弱い</li> <li>・山を知る</li> </ul>	<p>【災害復旧後後に關して】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害マニュアルの再構築</li> <li>・各自の意識</li> <li>・山の改良、落葉樹の植込み</li> <li>・避難場所の確保がほしい。公民館、小学校も危ないとのことである</li> <li>・忘れないように写真、パルネを撮りたい</li> <li>・行政と住民の連絡</li> <li>・アプリ「NERV防災」</li> </ul>

# 今年度の成果と成果が出た要因

## 2. 復興祈願祭(虫追い祭り)

<b>■成果</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・担い手側の気づき(規模を縮小すれば毎年できるし、楽しい)</li><li>・地元住民側の気づき(伝統行事は地域の力になる)</li><li>・メディアからの高い関心(新聞-2社,掲載3回)</li></ul>
<b>■要因</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・伝統行事の捉え直し(虫除け祈願→安心できる暮らし祈願→復興祈願)</li><li>・被災地での開催(復旧拠点となった公民館広場)</li><li>・祭りの内容変更(代表挨拶を追加。ぶつかり合い・三本締めを取り止め)</li><li>・担い手との長期にわたる交流(過去の祭り取材や日頃の農業活動などでの交流)</li></ul>

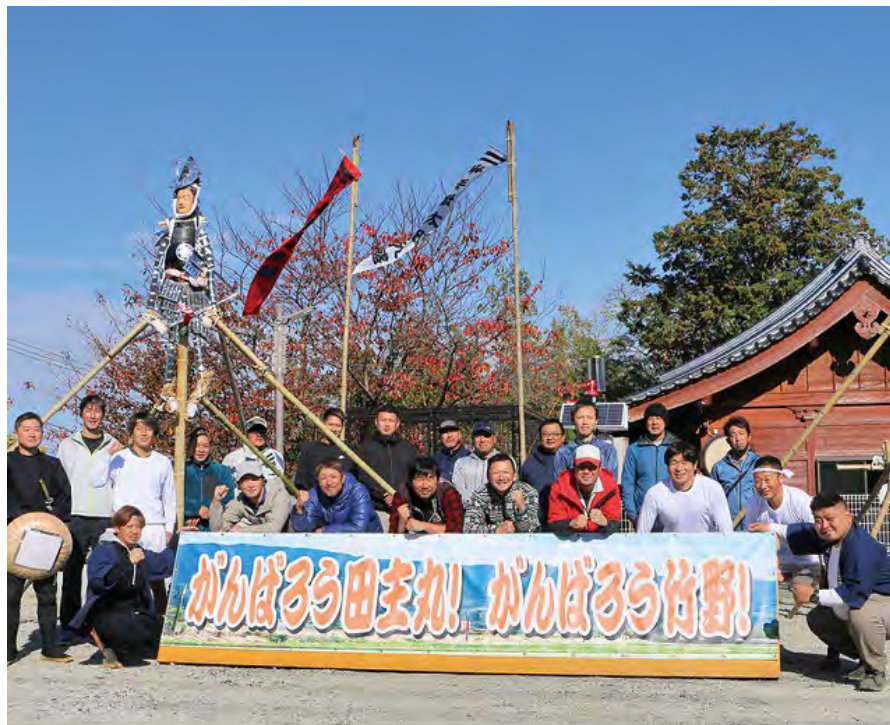


写真:ご当地新聞くるめすたいる

# 今年度の成果と成果が出た要因

## 3. 筑後川遺産（展示会・ストーリーシート作成）

<b>■成果</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・有効な紹介ツールの獲得(展示会内容を反映したストーリーシート)</li><li>・久留米市からの支援(市予算によるストーリーシート作成、来年度も伴走支援)</li><li>・認知度／関心度の向上(展示会、出品協力、広報紙閲覧、ラジオなどを契機に)</li></ul>
<b>■要因</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ローカルSDGsという切り口(筑後川遺産登録にも「地域をつなぐSDGs」と明記)</li><li>・多様な神事・伝統行事が密集して多数残る地域特性</li><li>・地元住民との長期にわたる交流(過去5年の神事・伝統行事の見学取材)</li></ul>



# 今年度の成果と成果が出た要因

## 4.Web「祈る、田主丸。」改訂

<b>■成果</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・コンテンツの充実による情報発信力の強化(筑後川遺産とも連携)</li><li>・動画による魅力向上(展示会用動画を含むYouTube「語る、田主丸。」との連携)</li><li>・英語版の開設(今後のインバウンド対応)</li></ul>
<b>■要因</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・筑後川遺産の登録と展示会の開催(魅力や特徴の整理)</li><li>・映像などの記録の蓄積(過去5年間にわたる神事・伝統行事の取材)</li></ul>

<https://inoru-tanushimaru.com/wp/>

祈る、  
田主丸。

土地に根づく神仏、  
伝統行事。



祈る、田主丸。

祈る、田主丸。とは マップ 魅力を知る。 空から、知る。 年中行事 お知らせ

田主丸。  
地方の温もりを伝える  
神事・伝統行事の宝庫の地

田主丸町は、久留米市でも神事や祭りが多く残る地域。毎月、どこかで何かしらの行事に出会えます。しかも、準備から最後の会食まで、全て地元の人の手で。昔ながらの地方の温もりが伝わる行事です。東西9キロ、南北6キロの狭い範囲にもかかわらず、耳納連山と筑後川に囲まれて、その舞台は、山・平地・川、と千差万別。まさに、田主丸は、祈りと祭りの正倉院。その御威(みくら)の扉、あなたも開けてみませんか？



# 次年度の展望と必要な取組

## 筑後川遺産保存活用の推進プログラム

### 登録第2号「田主丸・祭りの賑わう里～地域をつなぐSDGs」

取組	課題及び方針との対応	主体		前期					後期
		地域	市	R5	R6	R7	R8	R9	R10~R14
田主丸・祭りの賑わう里～地域をつなぐSDGs									
<b>祭り関連歴史遺産の調査</b> 夜渡・風止め・町祝い・堂籠り・獅子舞・虫追い祭を中心に、地域に残された記録や奉納絵馬や提灯などの各種遺物、高齢者の思い出などを調査し、記録を作成します。	2-(1)	◎	◎						
<b>情報発信の充実・強化</b> 既存のYouTube「語る、田主丸。」・Web「祈る、田主丸。」の内容を充実するとともに、オンライン配信やSNS展開など新たなメディア対応を図ります。また、市と連携して広報を強化し、他地域からの認知度を高めます。	3-(4) 3-(3)	◎	○						
<b>祭りの価値を再認識できる場の提供</b> 地域の将来を担う子どもや若年～中年層が、地域にもたらす祭りの価値を知り、祭りを引き継ぐことの大切さを感じる機会を、各種の特別授業やセミナー、勉強会を通じて提供します。	2-(2) 3-(1)	◎	◎						■ ■ ■
<b>祭り存続への支援基盤の整備</b> 現存する祭りが長く存続するよう、注連縄作りなどの各種講座を開設したり、外部サポーター制度など人手不足を補完したり、祭り道具などの修復に関わる相談に対応するなど、各種課題に応じる支援基盤を整備します。	1-(1) 2-(2)	○	◎						■ ■ ■
<b>祭りで地域を活性化する観光プログラムの開発</b> 虫追い祭の集客力をより高める関連イベントを開催したり、堂籠りなど地元でしか知られていなかった祭りを他地域の人にも楽しんでもらう見学体験プログラムを開発します。交流人口の増加を地域の誇り自信につなげます。	1-(1) 3-(2) 3-(3)	◎	○						